

ANAホールディングス株式会社 説明会

2020年3月期決算

2020年4月28日

代表取締役社長

片野坂 真哉



目次

1. 2019年度 決算・当面の経営方針

中期経営戦略の進捗	P. 4
2019年度 決算 (概要)	P. 5
新型コロナウイルスによる影響 (航空事業)	P. 6
当社グループにおける対応策	P. 7- 9
今後の方針 (航空事業)	P. 10
まとめ	P. 11

補足資料

国際旅客 方面別実績 (構成比)	P. 35
国際貨物 方面別実績 (構成比)	P. 36
航空機数	P. 37

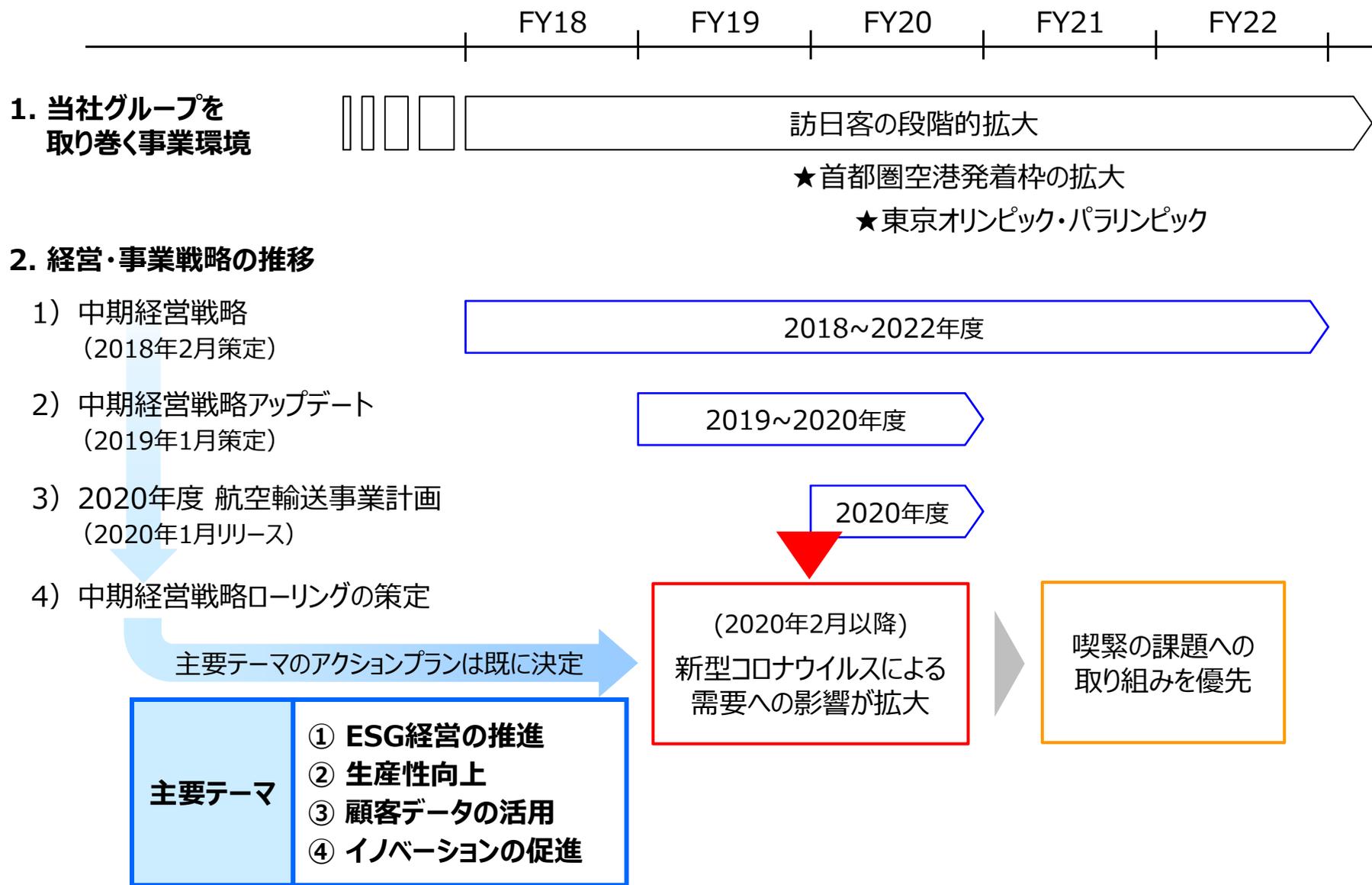
2. 2019年度 決算 (詳細)

業績ハイライト	P. 14
連結決算概要	
経営成績	P. 15
財政状態	P. 16
キャッシュフロー	P. 17
セグメント別実績	P. 18
航空事業	
収入・費用	P. 19
営業利益 増減要因	P. 20
ANA国際旅客	P. 21-24
ANA国内旅客	P. 25-26
ANA国際貨物	P. 27-29
ANA国内貨物	P. 30
LCC	P. 31-32
燃油・為替ヘッジ (ANA)	P. 33
ノンエア事業	
航空事業以外のセグメント	P. 34

1. 2019年度 決算・当面の経営方針



中期経営戦略の進捗



2019年度 決算（概要）

2019年度 決算（連結）

(億円)	実績	前年差	計画差*
売上高	19,742	△840	△1,158
航空事業	17,377	△766	△1,222
営業利益	608	△1,042	△791
航空事業	495	△1,110	△864
営業利益率	3.1%	△4.9pt	△3.6pt
経常利益	593	△973	△776
親会社株主に帰属する 当期純利益	276	△831	△663
EBITDA	2,365	△880	△751
1株あたり当期純利益	82.7円	△248.4円	△198.3円
1株あたり配当金	0円	△75円	△75円

* 2019年10月29日発表 修正計画との差異

第4四半期（1~3月期）

新型コロナウイルスによる影響の拡大



第4四半期 実績

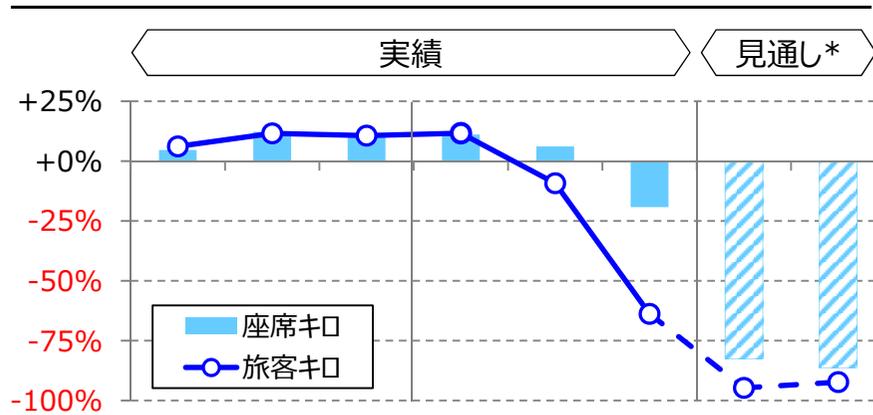
- 1) 旅客数 (前年同期比)
 - ① ANA国際線 △31%
 - ② ANA国内線 △22%
- 2) 売上高 前年差 △978億円
- 3) 営業利益 同 △672億円
- 4) 当期純利益 同 △627億円

新型コロナウイルスによる影響（航空事業）

需要の動向（前年同月比）

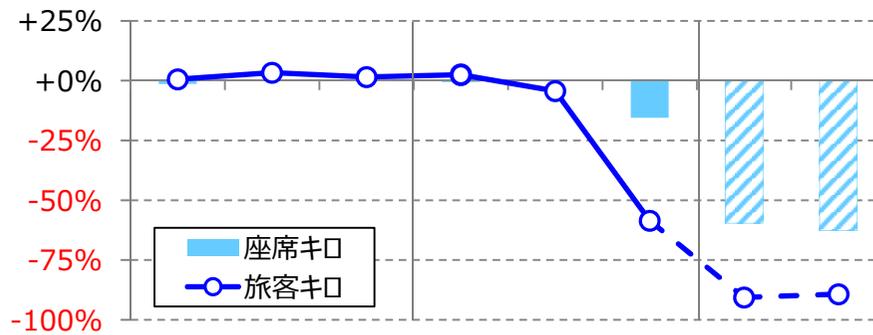
第4四半期実績の状況

ANA
国際旅客



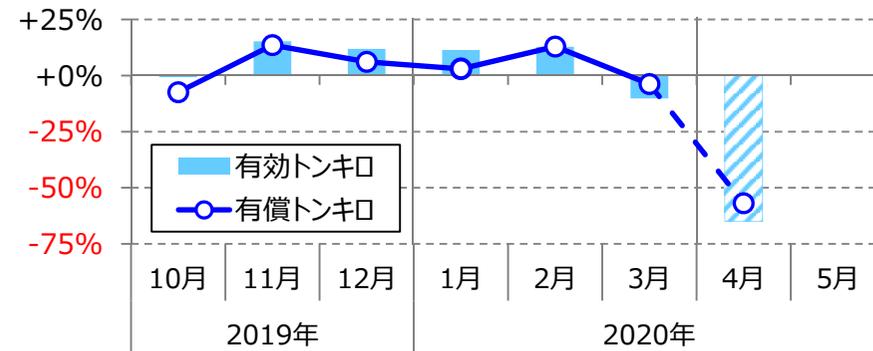
- 1) 1月下旬から中国方面で影響が顕在化
 - 2) 2月からアジア線の需要が減少
 - 3) 3月から全方面に影響が拡大
- 〔 3/11 WHO「パンデミックを表明」 〕

ANA
国内旅客



- 1) 2月後半から需要が鈍化
 - 2) 3月から需要が急激に減少
- 〔 2/26 政府によるイベント自粛要請
2/28 北海道 緊急事態宣言 〕

ANA
国際貨物



- 1) 2月から救援物資等の需要が増加
- 2) 3月から航空貨物市場の需給が逼迫

* 4/28現在（今後減便等を追加する可能性あり）

当社グループにおける対応策

I 事業

即効性のある収支改善策の実行

1. 需要動向に合わせた生産量の抑制

	足元の状況（2020年2月以降）		当社グループでの対応
ANA 国際旅客	世界各国における 入国・渡航規制の強化	→	1) 運航規模を極力抑制 [座席キロ] 4~5月 △8割以上 運航体制の適正化
ANA 国内旅客	1) 日本政府による緊急事態宣言 2) 各自治体からの外出自粛要請	→	1) 運航便数を機動的に抑制 2) 交通インフラとしての機能は維持 [座席キロ] 4~5月 △6割
ANA 国際貨物	航空貨物市場における 供給量の大幅な減少	→	1) 臨時便の設定、大型フレイターの活用 2) 特殊商材の取り込み強化 [有効トンキロ] 4月 △6割強
Peach	海外・国内ともに レジャー需要が大幅に低迷	→	1) 路線毎の需要動向に応じた早期の減便 [国際線] 4~5月 全便運休

* 数値は2020年度の当初計画比、4/28現在

当社グループにおける対応策

I 事業

即効性のある収支改善策の実行

2. 人員稼働・サービスの適正化

- 1) 一時帰休制度の導入と拡充
- 2) 空港運営体制の見直し、機内サービスの変更、など

3. 緊急的な対応策

- 1) 役員報酬、人件費の減額
- 2) 機材関連費用の圧縮（航空機の受領後ろ倒しなど）
- 3) 外部委託の削減（海外整備委託の内製化など）
- 4) 管理可能費の大幅な執行削減、など

当社グループにおける対応策

Ⅱ 財務

手元流動性の確保

1. 間接金融を中心とした借入の実行
2. コミットメントラインの追加設定
3. 設備投資の抑制
 - 1) 航空機の受領後ろ倒し
 - 2) 機内プロダクト改修・IT投資の先送り、など

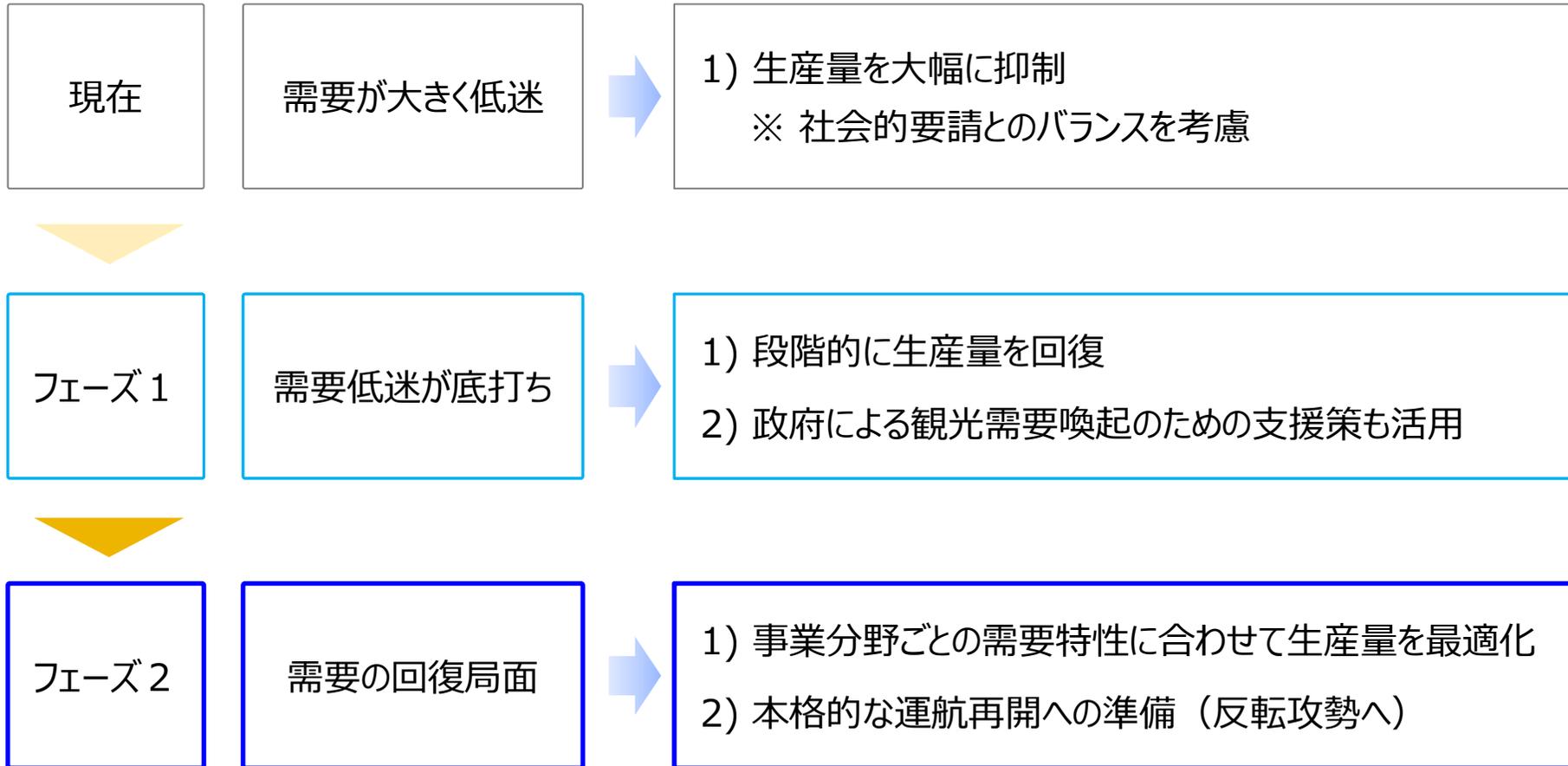
Ⅲ その他

1. 定期航空協会としての対応 = 政府への支援要請
 - 1) 各種公租公課の減免、支払い猶予（空港使用料、航空機燃料税など）
 - 2) 航空各社の経営環境を踏まえた緊急融資など

今後の方針（航空事業）

旅客需要の基調

当社グループの対応



まとめ

1. 2020年度 通期業績予想について

- 1) 諸前提が定められる状況になった段階で開示

2. 経営として注力する優先課題

- 1) 手元流動性の着実な確保
- 2) 当面のリソース活用方法（機材・人財）

Intentionally Left Blank

2. 2019年度 決算（詳細）



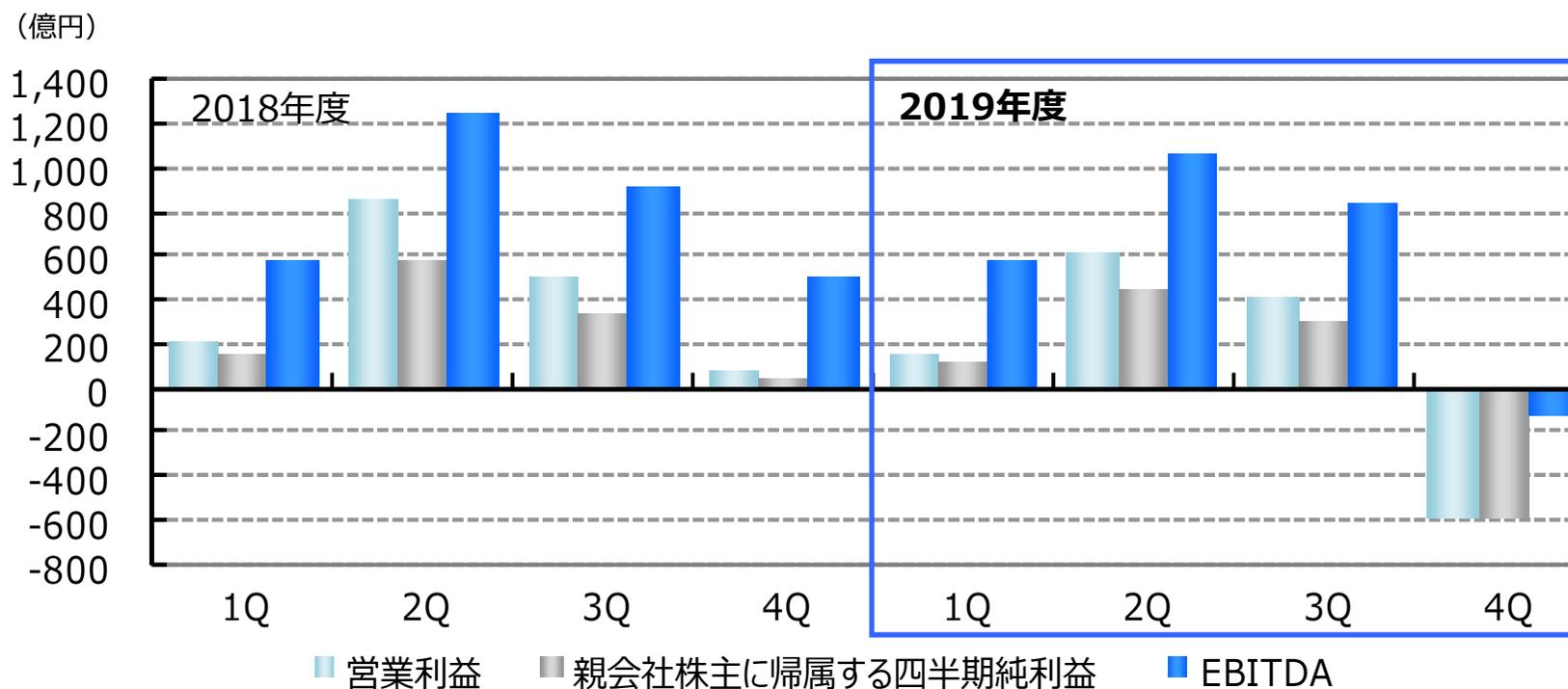
当年度と前年度各四半期の業績比較

【2019年度（連結）】

- 営業利益 : 608億円（前年同期比 △1,042億円）
- 親会社株主に帰属する当期純利益 : 276億円（同 △831億円）
- EBITDA : 2,365億円（同 △880億円）

【第4四半期（1-3月期）（連結）】

- 営業利益 : △588億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : △587億円
- EBITDA : △130億円



経営成績

(億円)	FY2018	FY2019	前年差	FY2019 第4四半期	前年差
売上高	20,583	19,742	△ 840	3,920	△ 978
営業費用	18,932	19,134	+ 201	4,509	△ 305
営業利益	1,650	608	△ 1,042	△ 588	△ 672
営業利益率 (%)	8.0	3.1	△ 4.9pt	-	-
営業外損益	△ 83	△ 14	+ 68	△ 43	+ 15
経常利益	1,566	593	△ 973	△ 631	△ 656
特別損益	△ 26	△ 78	△ 51	△ 105	△ 143
親会社株主に帰属する当期純利益	1,107	276	△ 831	△ 587	△ 627
当期純利益	1,118	259	△ 859	△ 607	△ 649
その他包括利益	297	△ 406	△ 704	△ 463	△ 757
包括利益	1,416	△ 147	△ 1,563	△ 1,070	△ 1,406

財政状態

(億円)	FY2018 期末	FY2019 期末	前年度 期末差
総資産	26,871	25,601	△ 1,269
自己資本	10,994	10,610	△ 383
自己資本比率(%)	40.9	41.4	+ 0.5pt
有利子負債残高	7,886	8,428	+ 542
D/Eレシオ (倍)	0.7	0.8	+ 0.1
手元流動性 *	2,936	2,386	△ 550
純有利子負債残高 **	4,949	6,042	+ 1,092

* 手元流動性 = 現金及び預金 + 有価証券

** 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - 手元流動性

キャッシュフロー

(億円)	FY2018	FY2019	前年差
営業キャッシュフロー	2,961	1,301	△ 1,659
投資キャッシュフロー	△ 3,086	△ 2,302	+ 784
財務キャッシュフロー	△ 464	238	+ 703
現金及び現金同等物の増減額	△ 586	△ 764	△ 177
現金及び現金同等物の期首残高	2,705	2,118	} △ 759
現金及び現金同等物の期末残高	2,118	1,359	
減価償却費	1,595	1,757	+ 161
設備投資額 (固定資産のみ)	3,758	3,513	△ 245
実質フリーキャッシュフロー (3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く)	△ 180	△ 791	△ 611
EBITDA (営業利益+減価償却費)	3,245	2,365	△ 880
EBITDAマージン(%)	15.8	12.0	△ 3.8pt

セグメント別実績

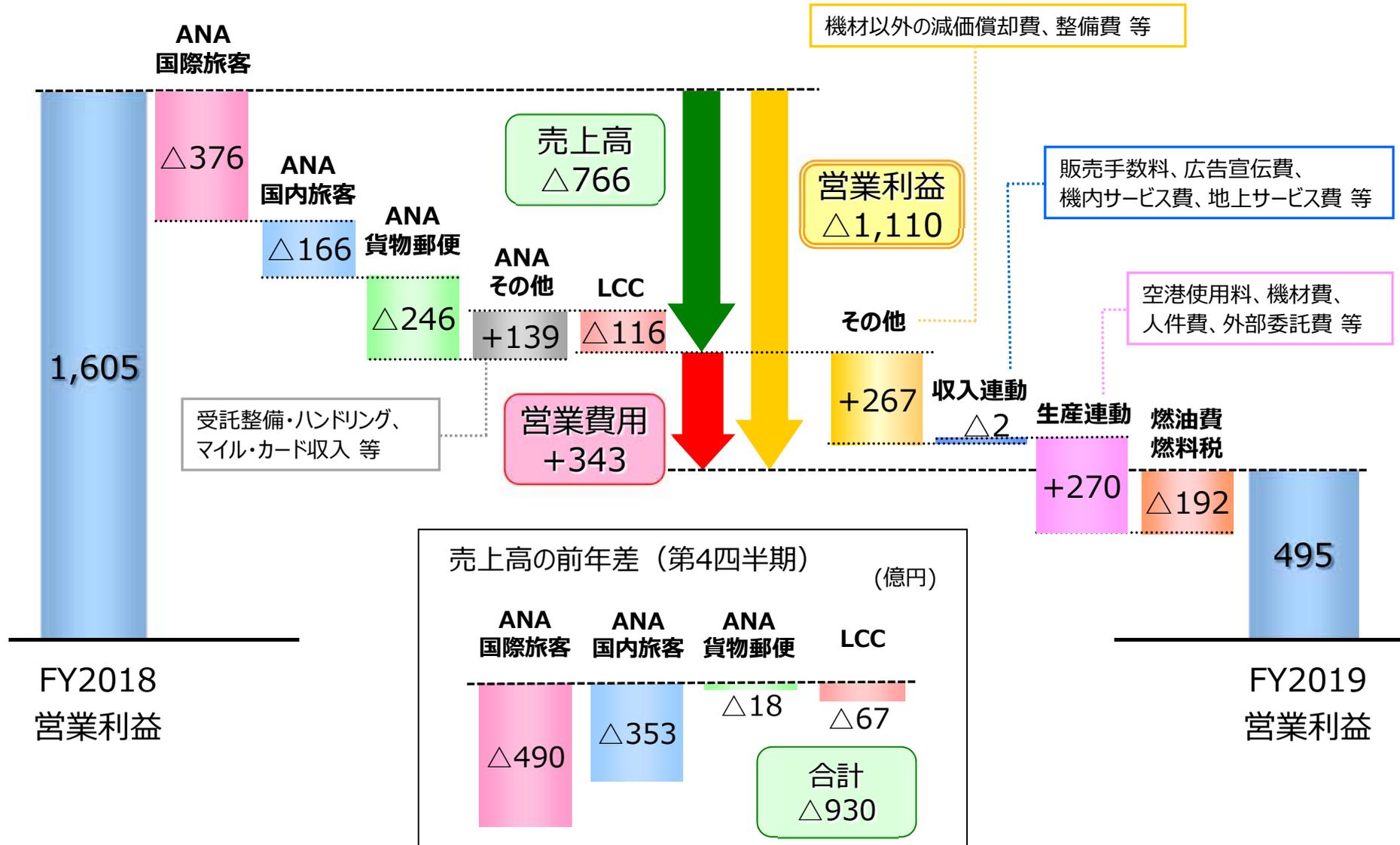
(億円)		FY2018	FY2019	前年差	FY2019 第4四半期	前年差
売上高	航空事業	18,144	17,377	△ 766	3,424	△ 885
	航空関連事業	2,910	2,994	+ 83	745	+ 6
	旅行事業	1,507	1,439	△ 67	247	△ 107
	商社事業	1,506	1,447	△ 59	303	△ 60
	その他	409	442	+ 32	127	+ 10
	調整額	△ 3,895	△ 3,959	△ 63	△ 927	+ 58
	合計 (連結)	20,583	19,742	△ 840	3,920	△ 978
営業利益	航空事業	1,605	495	△ 1,110	△ 625	△ 738
	航空関連事業	131	181	+ 49	67	+ 58
	旅行事業	6	13	+ 7	△ 5	+ 2
	商社事業	37	29	△ 7	△ 2	△ 9
	その他	22	35	+ 12	15	+ 12
	調整額	△ 153	△ 147	+ 5	△ 38	+ 2
	合計 (連結)	1,650	608	△ 1,042	△ 588	△ 672

収入・費用

(億円)		FY2018	FY2019	前年差	FY2019 第4四半期	前年差
売上高	ANA 国際旅客	6,515	6,139	△ 376	1,058	△ 490
	ANA 国内旅客	6,966	6,799	△ 166	1,264	△ 353
	ANA 貨物郵便	1,607	1,361	△ 246	323	△ 18
	ANA その他	2,118	2,257	+ 139	601	+ 44
	LCC	936	819	△ 116	176	△ 67
	合計	18,144	17,377	△ 766	3,424	△ 885
営業費用	燃油費・燃料税	3,337	3,144	△ 192	682	△ 80
	空港使用料	1,216	1,201	△ 14	269	△ 32
	航空機材賃借費	1,234	1,306	+ 71	335	+ 24
	減価償却費	1,529	1,682	+ 153	438	+ 27
	整備部品・外注費	1,570	1,773	+ 202	488	+ 45
	人件費	2,078	2,016	△ 61	425	△ 102
	販売費	1,078	1,051	△ 26	233	△ 34
	外部委託費	2,396	2,566	+ 169	648	+ 20
	その他	2,098	2,138	+ 39	529	△ 14
	合計	16,538	16,881	+ 343	4,049	△ 146
営業利益	1,605	495	△ 1,110	△ 625	△ 738	
EBITDA (営業利益+減価償却費)	3,135	2,178	△ 956	△ 187	△ 711	
EBITDAマージン (%)	17.3	12.5	△ 4.7pt	△ 5.5	△ 17.6pt	

営業利益 増減要因

(億円)



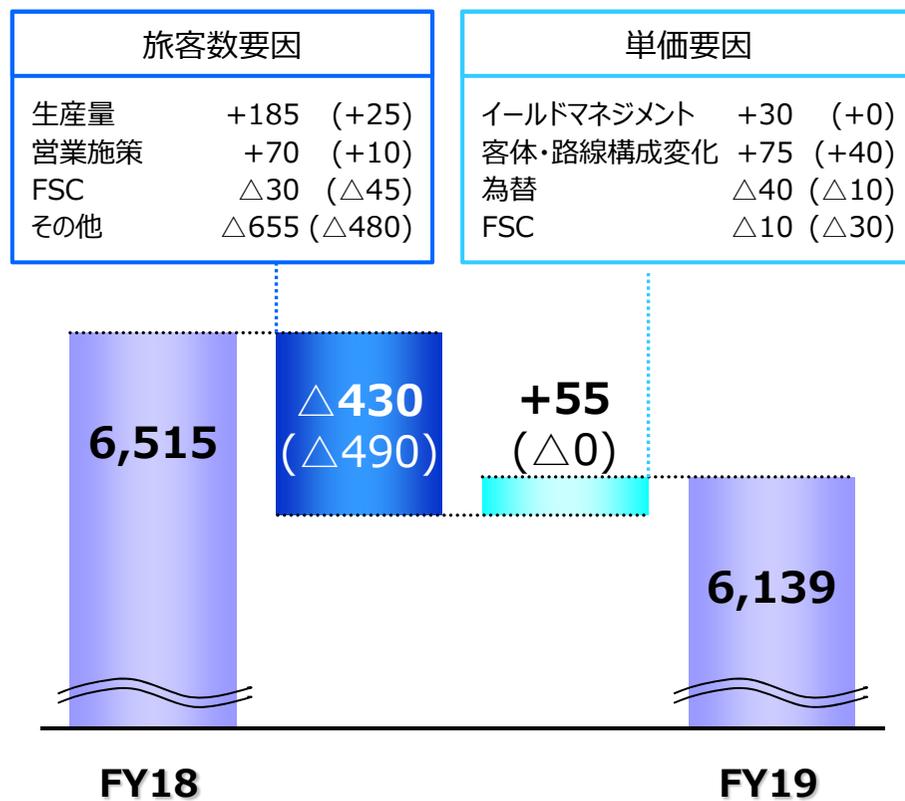
ANA国際旅客

	FY2018	FY2019	前年比(%)	FY2019 第4四半期	前年比(%)
座席キ〇 (百万)	65,976	68,885	+ 4.4	16,156	△ 1.1
旅客キ〇 (百万)	50,776	50,219	△ 1.1	9,716	△ 22.1
旅客数 (千人)	10,093	9,416	△ 6.7	1,682	△ 31.3
座席利用率 (%)	77.0	72.9	△ 4.1pt*	60.1	△16.2pt*
旅客収入 (億円)	6,515	6,139	△ 5.8	1,058	△ 31.7
ユニットレベニュー (円) (旅客収入/座席キ〇)	9.9	8.9	△ 9.8	6.6	△30.9
イールド (円) (旅客収入/旅客キ〇)	12.8	12.2	△ 4.7	10.9	△ 12.3
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	64,556	65,196	+ 1.0	62,901	△ 0.5

* 座席利用率のみ前年差

ANA国際旅客（事業動向）

2019年度 収入増減要因

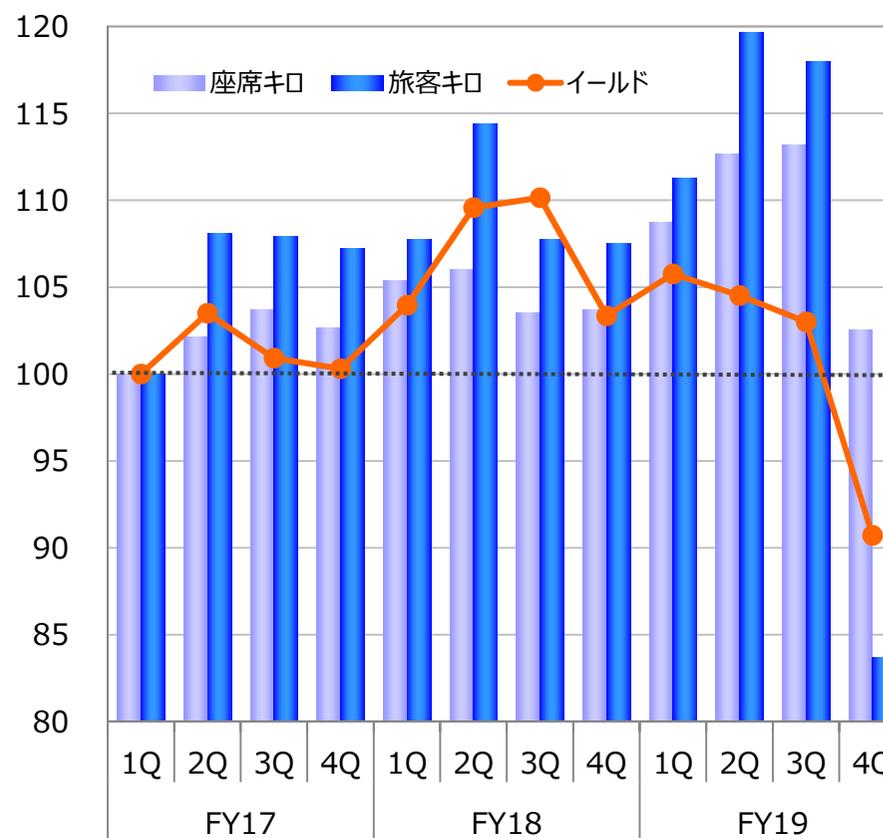


(カッコ内は第4四半期のみの実績値)

単位：億円

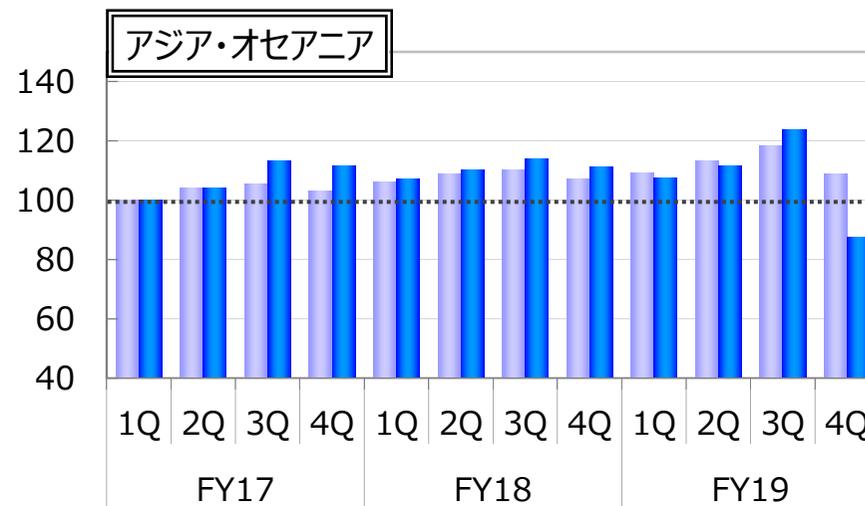
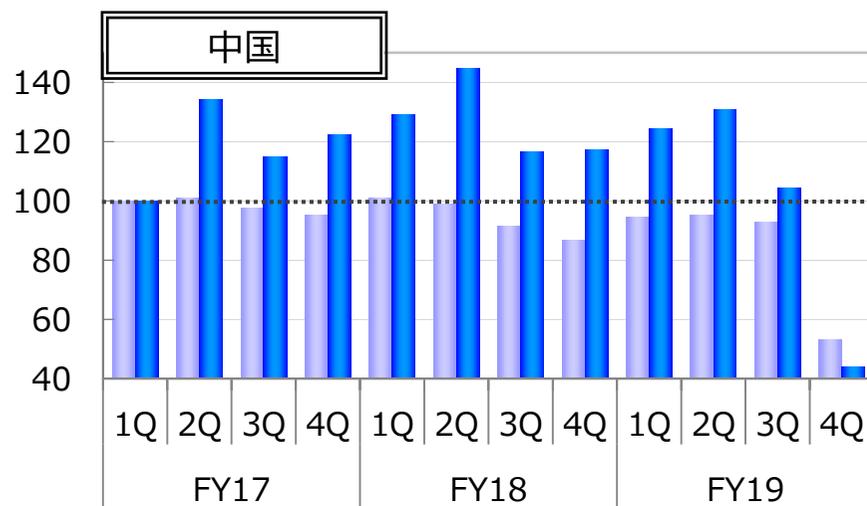
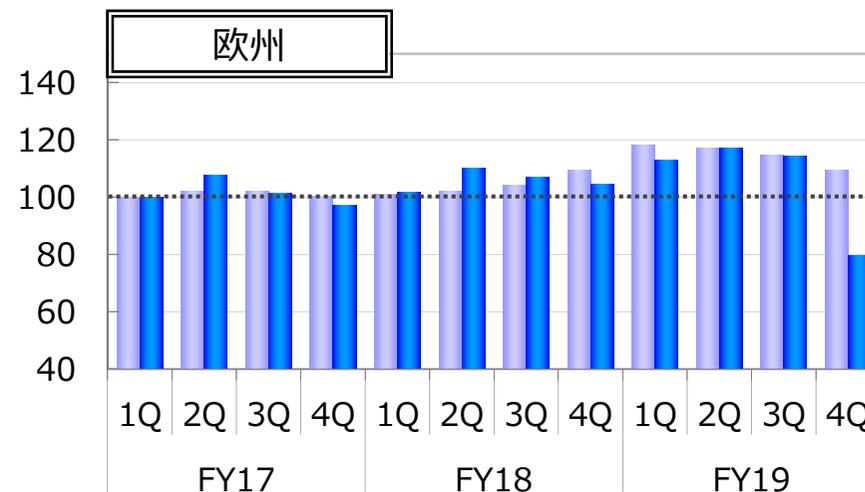
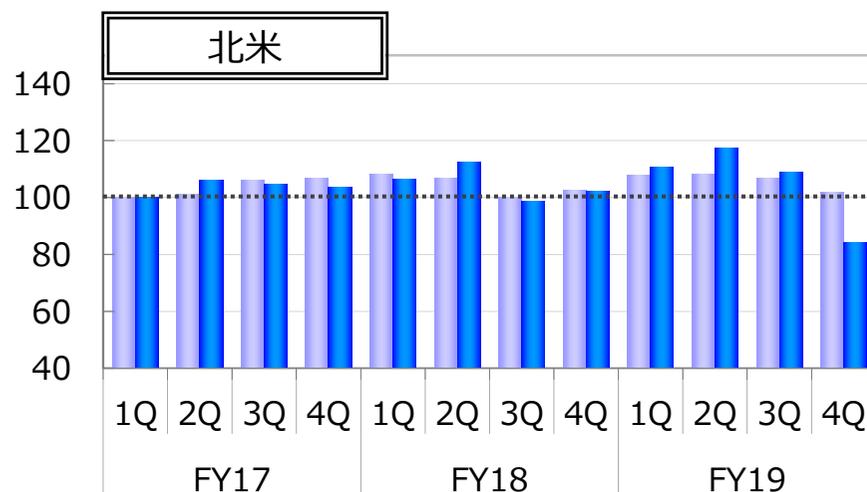
四半期別 実績推移

指数 (FY17 1Q=100)



ANA国際旅客（四半期別・方面別 推移）

指数 (FY17 1Q=100) ■ : 座席キ〇 ■ : 旅客キ〇



Intentionally Left Blank

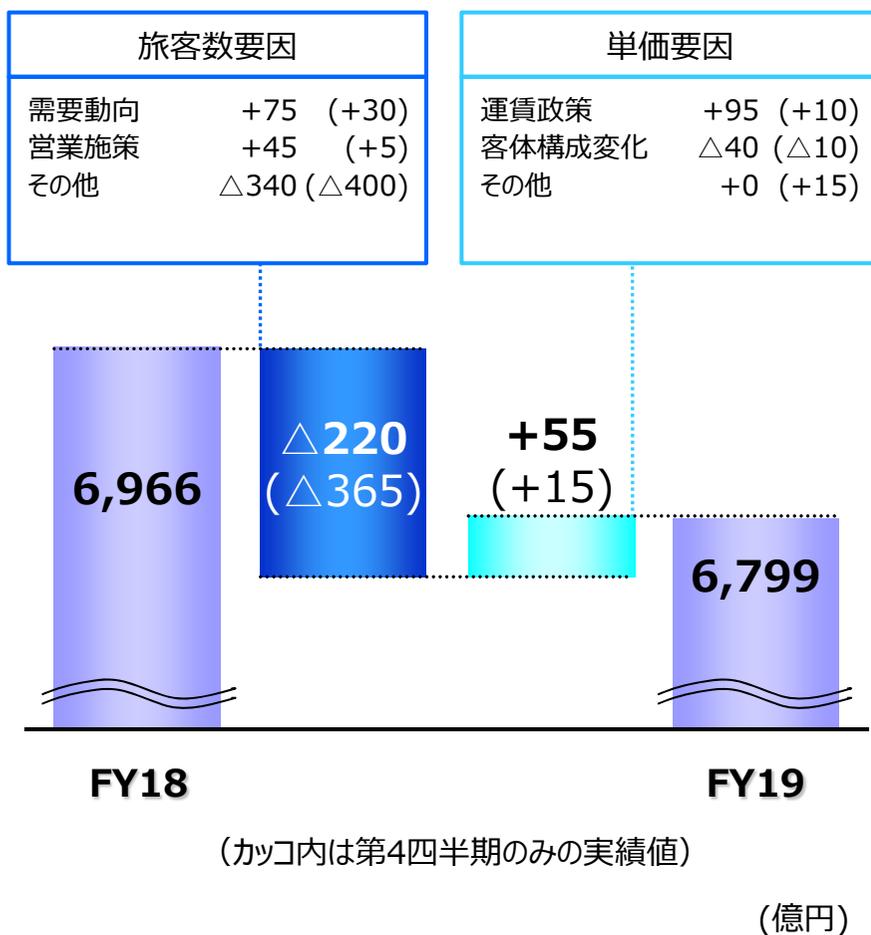
ANA国内旅客

	FY2018	FY2019	前年比(%)	FY2019 第4四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	58,475	58,552	+ 0.1	13,610	△ 5.4
旅客キロ (百万)	40,704	39,502	△ 3.0	7,556	△ 22.4
旅客数 (千人)	44,325	42,916	△ 3.2	8,191	△ 22.5
座席利用率 (%)	69.6	67.5	△ 2.1pt*	55.5	△12.1pt*
旅客収入 (億円)	6,966	6,799	△ 2.4	1,264	△ 21.8
ユニットレベニュー (円) (旅客収入/座席キロ)	11.9	11.6	△ 2.5	9.3	△ 17.3
イールド (円) (旅客収入/旅客キロ)	17.1	17.2	+ 0.6	16.7	+ 0.7
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	15,716	15,844	+ 0.8	15,437	+ 0.9

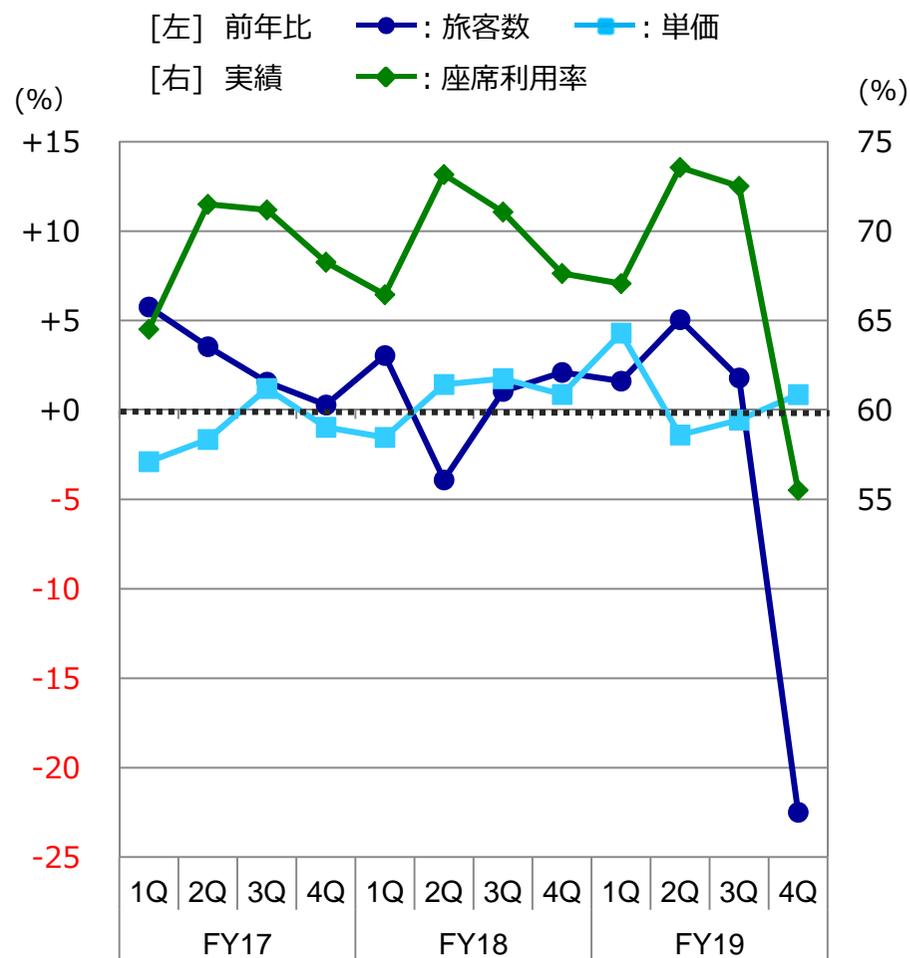
* 座席利用率のみ前年差

ANA国内旅客（事業動向）

2019年度 収入増減要因



四半期別 実績推移



ANA国際貨物（ベリー＋フレighter）

	FY2018	FY2019	前年比(%)	FY2019 第4四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	7,122	7,354	+ 3.2	1,803	+ 4.0
有償貨物トンキロ（百万）	4,318	4,222	△ 2.2	1,001	+ 3.3
貨物輸送重量（千トン）	913	866	△ 5.2	194	△ 2.4
貨物重量利用率（%）	60.6	57.4	△ 3.2pt*	55.5	△ 0.4pt*
貨物収入（億円）	1,250	1,026	△ 17.9	245	△ 6.2
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	17.6	14.0	△ 20.4	13.6	△ 9.8
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	28.9	24.3	△ 16.0	24.5	△ 9.2
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	137	118	△ 13.4	126	△ 3.9

* 貨物重量利用率のみ前年差

ANA国際貨物（フレイターのみ）

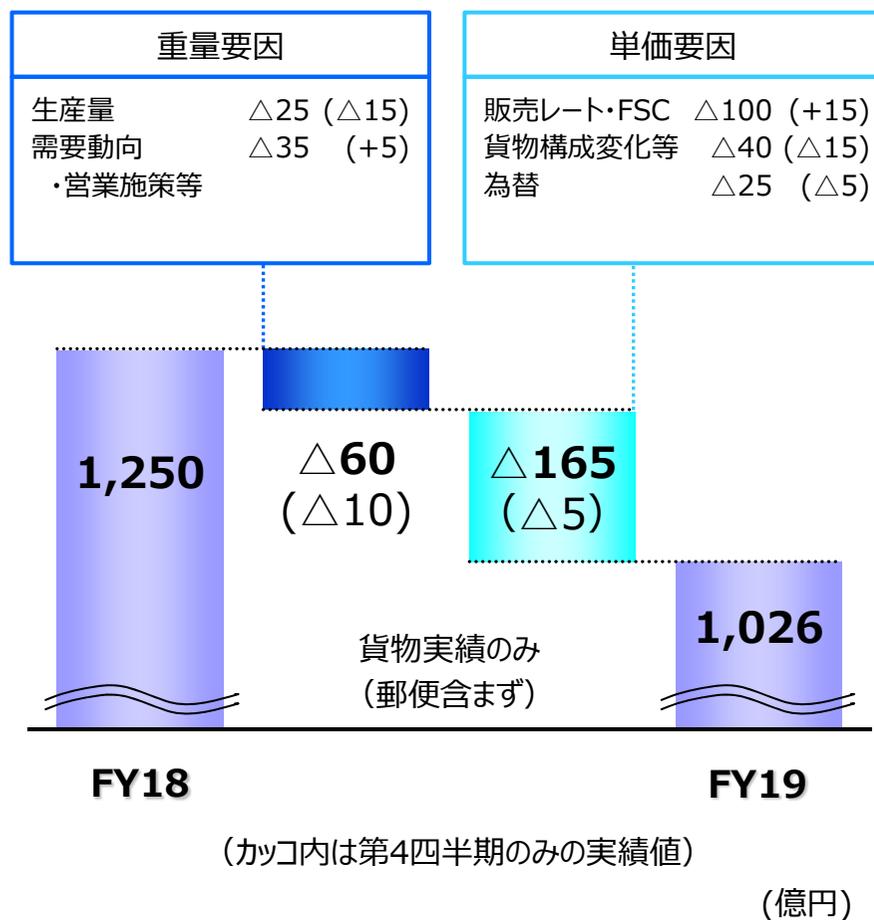
本表のデータは、P.27記載実績の内数

	FY2018	FY2019	前年比(%)	FY2019 第4四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,243	1,424	+ 14.5	320	+ 10.4
有償貨物トンキロ（百万）	851	926	+ 8.9	211	+ 11.0
貨物輸送重量（千トン）	337	312	△ 7.3	62	△ 12.5
貨物重量利用率（%）	68.4	65.0	△ 3.4pt*	66.0	+ 0.4pt*
貨物収入（億円）	364	307	△ 15.7	69	△ 6.7
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	29.3	21.6	△ 26.4	21.7	△ 15.5
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	42.9	33.2	△ 22.6	32.8	△ 16.0
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	108	98	△ 9.1	110	+ 6.6

* 貨物重量利用率のみ前年差

ANA国際貨物（事業動向）

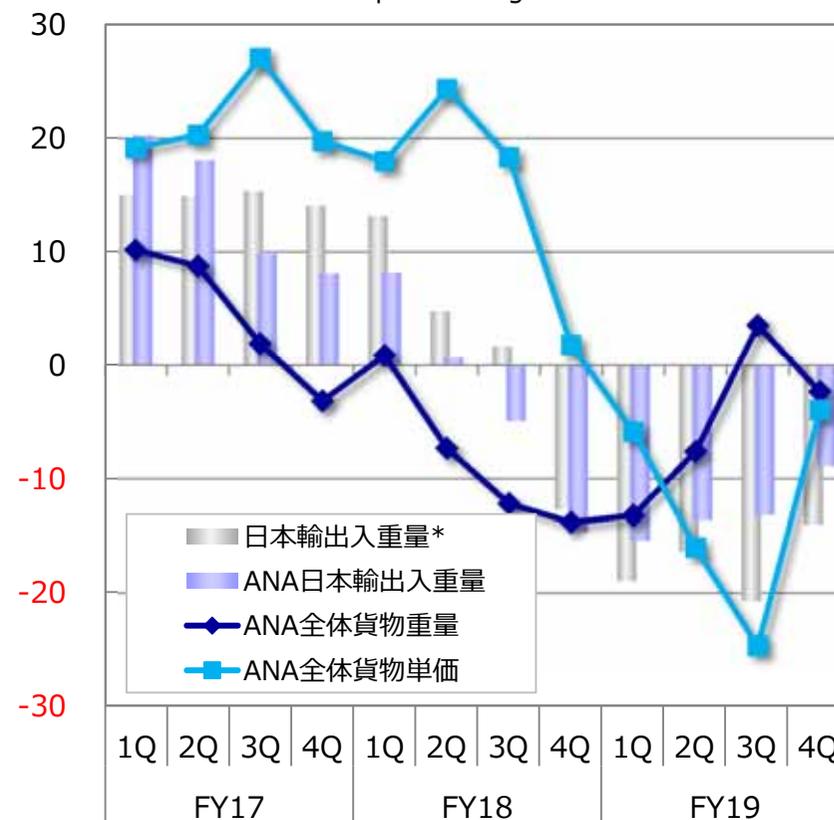
2019年度 収入増減要因



四半期別 実績推移

(前年比：%)

* Japan Aircargo Forwarders Association



ANA国内貨物

	FY2018	FY2019	前年比(%)	FY2019 第4四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ (百万)	1,720	1,705	△ 0.9	379	△ 9.4
有償貨物トンキロ (百万)	408	387	△ 5.2	88	△ 4.1
貨物輸送重量 (千トン)	393	373	△ 5.2	83	△ 5.0
貨物重量利用率 (%)	23.7	22.7	△ 1.0pt*	23.3	+ 1.3pt*
貨物収入 (億円)	274	255	△ 7.0	58	△ 4.5
ユニットレベニュー (円) (貨物収入/有効貨物トンキロ)	16.0	15.0	△ 6.2	15.4	+ 5.4
イールド (円) (貨物収入/有償貨物トンキロ)	67.2	66.0	△ 1.9	66.4	△ 0.4
重量単価 (円/kg) (貨物収入/貨物輸送重量)	70	68	△ 1.9	70	+ 0.5

* 貨物重量利用率のみ前年差

LCC

(Peach Aviation・バニラエア 合計)	FY2018	FY2019	前年比(%)	FY2019 第4四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	12,052	11,076	△ 8.1	2,480	△ 17.0
旅客キロ (百万)	10,394	9,202	△ 11.5	1,867	△ 28.1
旅客数 (千人)	8,153	7,288	△ 10.6	1,511	△ 26.4
座席利用率 (%)	86.2	83.1	△ 3.2pt*	75.3	△ 11.6pt*
売上高 (億円) **	936	819	△ 12.5	176	△ 27.7
ユニットレベニュー (円) (売上高/座席キロ)	7.8	7.4	△ 4.7	7.1	△ 12.9
イールド (円) (売上高/旅客キロ)	9.0	8.9	△ 1.1	9.4	+ 0.5
単価 (円) (売上高/旅客数)	11,482	11,244	△ 2.1	11,657	△ 1.8

* 座席利用率のみ前年差

** 売上高に付帯収入を含む

LCC 会社別実績

※ 2019/10/27以降、Peach Aviationに運航を一元化

peach	FY2018	FY2019	前年比(%)	FY2019 第4四半期	前年比(%)
	座席キロ (百万)	7,370	9,578	+ 30.0	2,480
旅客キロ (百万)	6,469	7,926	+ 22.5	1,867	+ 11.5
旅客数 (千人)	5,517	6,435	+ 16.7	1,511	+ 6.8
座席利用率 (%)	87.8	82.8	△ 5.0pt*	75.3	△ 14.3pt*

Vanilla Air	FY2018	FY2019	前年比(%)	FY2019 第4四半期	前年比(%)
	座席キロ (百万)	4,681	1,497	△ 68.0	—
旅客キロ (百万)	3,924	1,275	△ 67.5	—	—
旅客数 (千人)	2,635	852	△ 67.7	—	—
座席利用率 (%)	83.8	85.1	+ 1.3pt*	—	—

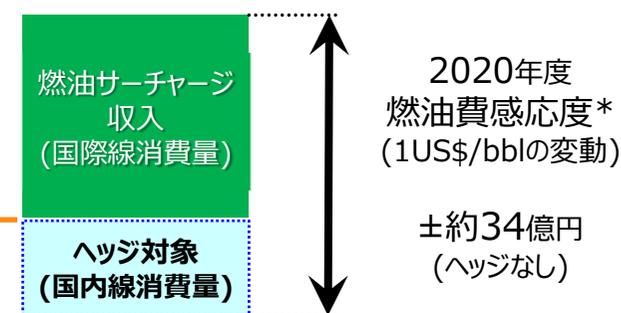
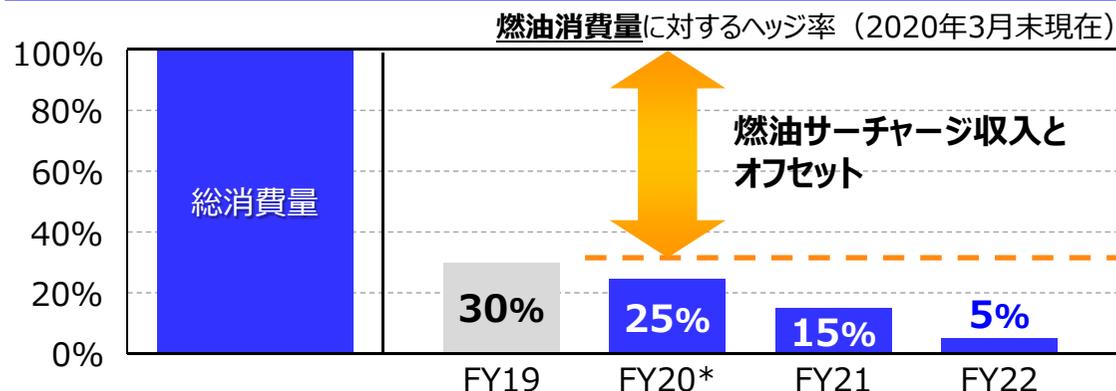
* 座席利用率のみ前年差

燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANAブランド)

1. 燃油ヘッジ 基本方針

- 国内線消費量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)
- 国際線消費量は原則としてヘッジ対象外 (燃油サーチャージ収入で対応)

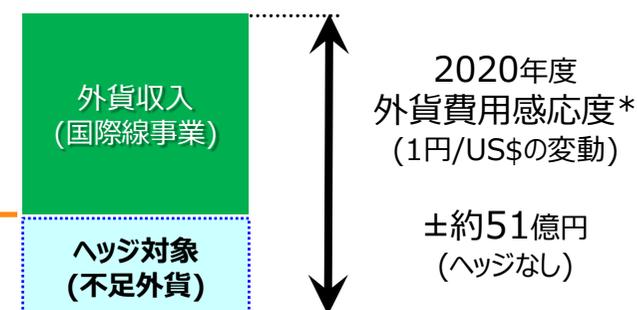
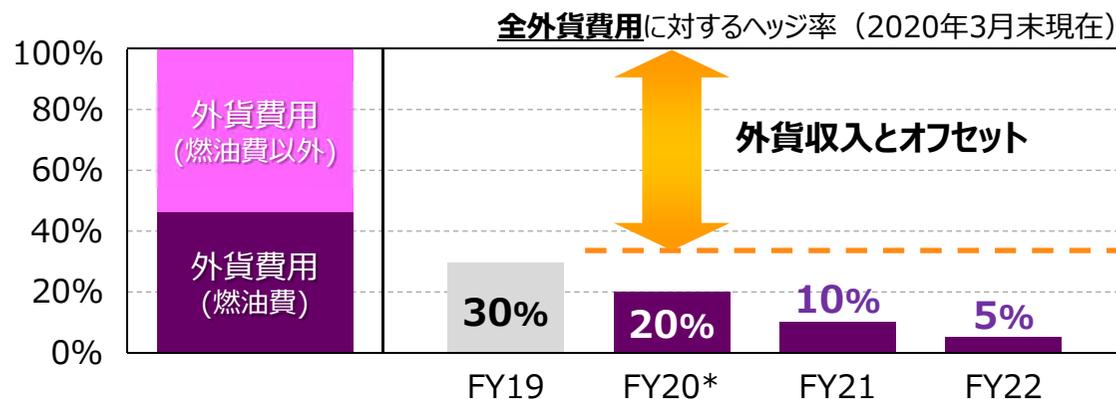
(US\$/bbl)	FY19実績
ドバイ原油	60.3
シンガポールケロシン	72.9



2. 為替ヘッジ 基本方針

- 不足する外貨量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)

(円/US\$)	FY19実績
ドル円レート	108.7



航空事業以外のセグメント

(億円)	航空関連事業			旅行事業		
	FY2018	FY2019	前年差	FY2018	FY2019	前年差
売上高	2,910	2,994	+ 83	1,507	1,439	△ 67
営業利益	131	181	+ 49	6	13	+ 7
減価償却費	44	53	+ 8	5	5	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	176	234	+ 57	11	19	+ 8
EBITDAマージン(%)	6.1	7.8	+ 1.8pt	0.7	1.4	+ 0.6pt
	商社事業			その他		
	FY2018	FY2019	前年差	FY2018	FY2019	前年差
売上高	1,506	1,447	△ 59	409	442	+ 32
営業利益	37	29	△ 7	22	35	+ 12
減価償却費	13	13	△ 0	2	2	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	50	42	△ 8	25	37	+ 12
EBITDAマージン(%)	3.4	2.9	△ 0.4pt	6.1	8.6	+ 2.4pt

ANA国際旅客 方面別実績（構成比）

		FY2019 構成比	前年差	FY2019 第4四半期 構成比	前年差
旅客収入	北米	30.2	+ 0.1	32.0	+ 2.5
	欧州	19.6	+ 0.4	17.3	△ 0.3
	中国	12.5	△ 2.2	7.7	△ 6.5
	アジア・オセアニア	31.0	△ 0.1	34.9	+ 1.2
	ハワイ	6.8	+ 1.8	8.1	+ 3.0
座席キロ	北米	31.9	△ 0.9	32.6	+ 0.1
	欧州	17.0	+ 0.9	17.3	+ 0.2
	中国	8.5	△ 1.5	5.8	△ 3.5
	アジア・オセアニア	36.0	△ 0.2	37.1	+ 0.9
	ハワイ	6.6	+ 1.6	7.3	+ 2.3
旅客キロ	北米	32.6	+ 0.5	33.7	+ 1.9
	欧州	16.9	+ 0.2	16.4	△ 0.4
	中国	8.2	△ 2.0	4.6	△ 4.9
	アジア・オセアニア	34.9	△ 0.6	36.7	+ 0.4
	ハワイ	7.4	+ 1.9	8.6	+ 3.1

ANA国際貨物 方面別実績（構成比）

	FY2019 構成比	前年差	FY2019 第4四半期 構成比	前年差	
貨物収入	北米	35.3	△ 0.0	34.5	△ 0.6
	欧州	15.7	+ 0.7	16.9	+ 0.3
	中国	21.5	△ 1.0	18.8	△ 1.8
	アジア・オセアニア	24.2	+ 0.4	26.9	+ 2.6
	その他	3.4	△ 0.1	2.8	△ 0.5
有効貨物 トンキロ	北米	43.6	+ 2.7	44.2	+ 3.2
	欧州	14.2	△ 1.4	16.9	+ 0.5
	中国	12.6	△ 1.8	9.1	△ 4.5
	アジア・オセアニア	27.8	+ 0.7	28.3	+ 1.2
	その他	1.7	△ 0.1	1.4	△ 0.4
有償貨物 トンキロ	北米	42.0	+ 0.2	41.6	△ 0.3
	欧州	18.4	+ 1.0	19.5	+ 1.4
	中国	12.3	△ 0.7	9.4	△ 2.6
	アジア・オセアニア	25.5	△ 0.3	27.8	+ 1.9
	その他	1.9	△ 0.2	1.6	△ 0.3

航空機数



	FY2018 期末	FY2019 期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数
Airbus A380-800	1	2	+ 1	2	-
Boeing 777-300/-300ER	29	35	+ 6	26	9
Boeing 777-200/-200ER	20	20	-	16	4
Boeing 777-F	0	2	+ 2	2	-
Boeing 787-10	1	2	+ 1	2	-
Boeing 787-9	30	35	+ 5	29	6
Boeing 787-8	36	36	-	31	5
Boeing 767-300/-300ER	29	24	△ 5	23	1
Boeing 767-300F/-300BCF	12	10	△ 2	7	3
Airbus A321-200neo	11	11	-	-	11
Airbus A321-200	4	4	-	-	4
Airbus A320-200neo	9	11	+ 2	11	-
Airbus A320-200	5	3	△ 2	-	3
Boeing 737-800	40	39	△ 1	24	15
Boeing 737-700	7	8	+ 1	8	-
Boeing 737-500	7	3	△ 4	3	-
Bombardier DHC-8-400	24	24	-	24	-
ANA 計	265	269	+ 4	208	61
Airbus A320-200*	39	34	△ 5	-	34
ANAグループ 計	304	303	△ 1	208	95



*バニラエアからPeach Aviationへの移管に伴い改修中の機材等を含まない

Intentionally Left Blank

グループ経営理念

安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
 私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めていきます
 私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、お客様満足と価値創造で
 世界のリーディングエアライングループを目指します

グループ行動指針 (ANA's Way)

私たちは「あんしん、あったか、あかるく元気！」に、次のように行動します。

1. 安全 (Safety)
安全こそ経営の基盤、守り続けます。
2. お客様視点 (Customer Orientation)
常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。
3. 社会への責任 (Social Responsibility)
誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。
4. チームスピリット (Team Spirit)
多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。
5. 努力と挑戦 (Endeavor)
グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・IR部

Eメール : ir@anahd.co.jp